

AI監視

テクノロジーの力でフィットネス業界に新たな可能性を生み出す。OptFit（オプトフィット、名古屋市中区、渡辺昂希社長）は6月、フィットネスジムのデジタル変革（DX）をサポートするシステム「GYMDX」を公開する。新 昂希社長という。

輝け！ スタートアップ

⑦5

オプトフィット

型コロナウイルス感染症拡大で大打撃を受ける同業界だが、「アフターコロナでの伸びしろは十分ある」（渡辺 I 監視と器具利用率分

フィットネスジム、DX支援

析、会員アプリケーション（応用ソフト）の3機能を持つ。AI監視は、室内に設置したカメラの画像

データを用いて利用者を監視する。監視員業務をサポートする機能で、施設によっては従来の4分の3程度まで

人件費削減が見込める。利用者の動きをAIで認識し、分析。例えば利用者が60秒以上ベ

ンチプレスで動かなくなつた場合、監視員に警告する仕組みだ。総合型に照準

ターゲットは総合型のフィットネスジムの運営する中堅規模の企業。渡辺社長は「24時間型はある程度省人化

が進んでいる。一方、スクールの特化した比較サイトを運営。しか

し以前から興味のあつた画像解析と運動を掛け合わせたシステム開発を目的に事業を売却し、20年3月オプトフィットを設立した。矢野経済研究所によれば、2020年10月時点の国内フィットネス施設数は7893施設。業態別では、小規模の施設が約28%の2189施設と最も多く、24時間型、総合型、ターゲットは総合型のフィットネスジムの運営する中堅規模の企業。渡辺社長は「24時間型はある程度省人化

影響が大きく響く。オプトフィットもこの影響を受け、「（GYM DXの）公開を5月に予定していたが、コロナ禍で対象のジムが休業。6月に延長した」という。今後の見通しについては「AIにデータを学習させ、性能向上に努めたい」（同）と意気込み。先行きが見通しにくい現状だが、「フィットネスは必ず伸びる。そのためにも今は足固めが必要」（同）と先を見据える。（名古屋・浜田ひか

全業種 2カ月連続改善

業種 先 0% 増

全業種